

二年生始動！

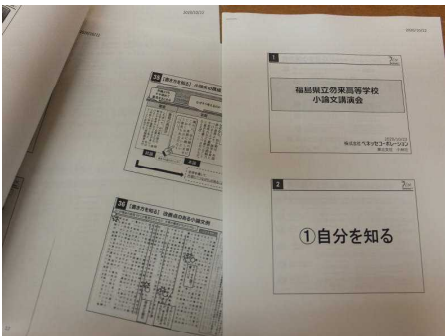
今月十六日解禁の就職試験、結果が続々入ってきています。三年生の吉報を祈る日々を過ごしています。

そんな中、二年生は早くも来年の今を睨んで走り始めました。写真は、外部講師を



招いての小論文講演会の様子です。本校生の多様な進路に因應するため、内容は大学入試系から就職(面接)系まで幅広くテーマ解説がありました。

私はこれまで数え切れない数の小論文を読み、添削をしてきました。その中で、直前期の追い込みではいかんともしがた



い問題がありました。それは、論じるための考えを持っていない、自分の考えを述べた経験が無いと

いう生徒への対応です。小論文の構成を勉強し、型を学んでも、自分の考えが思い浮かばない。傾向を分析し絞り込んだ話題を速習させて受験に向かわせましたが、やはりなかなか結果はつきませんでした。

本校では三年間「視点・論点」というオリチナルのプリントが毎週配布され、様々

な考えに触れ、自分の意見を述べる(書く)機会を保証しています。

私もできる限りプリントをやっています。(ただ、私の場合は一般論とは違うベクトルで攻める練習に使っています)。計画的に鍛えないと筋力もつかないように、小論文の力も日々のトレーニングは欠かせないものです。

文化祭準備始まる

本校では、三年に一回のペースで文化祭(非公開)を行っています。



元々非公開なので、コロナ禍の影響は少ないかなと思っていました。生徒会の実行委員会で連日議論があり、最終的には例年行う体育館でのイベントは中止する決定の報告を受けました。生徒会としても難しい判断だったと思いますし、後先考えずに行動して自分の高校時代を思うに、やりたい我を押さえ、冷静に判断した生徒諸君に拍手を送りたい。パチパチ



代案提示もあり、並行で行う体育大会でも使えるクラス旗とクラスおそろいのシャツの制作とのことでした。写真は、シャツ

に入れる言葉とシャツの色やデザインを選んでる場面です。縮小したとはいえ、文化祭は生徒の祭典。生徒自ら意見を出し合い、コロナ禍の文化祭を楽しもうという熱意にあふれています。

進んでるなあ

写真は、今回導入したプロジェクタです。

映像を白板やスクリーンに投影する装置ですが、よく見ると左にちよっと太めのペンがついています。

なんと、この装置は映した映像に書き込みを行うことができる電子黒板機能がついています。

その昔、透明シート



でOHPを駆使し、ビデオ（ベータ）で映像資料を見せる先生（当時最新）がいましたが、いまや黒板もOHPもビデオも全部まとめてこれ一台（洗剤のCMみたいですが）。進んでいますね。取り残されないようにしないと。

連載小説 自動ドア 第五回

仙田ノモ

次の音は、突然だったよ。コーンって音だった。今度は明らかに正面玄関からだってわかる音だったんだ。私もよくコーンって音を出してたからね、すぐにわかった。



正面玄関にすのこがひいてある。下駄箱を見に行きついでに、足下も見てくれよ、すのこがあるから。このすのこの端っこに足を乗っけちゃうと、もう片方の端が持ち

上がって、足を離すと玄関の床にボタンと落ちる。そのとき床とすのこが当たってコーンって音がするんだ。実際にやってみるといいよ、コーンって音がするから。

今度の音は、確実にそのすのこの音だったんだ。カエルの声だけの廊下にずいぶん長い時間響いていたよ。

今度は、どうするか考える必要はなかったよ、人間がすのこを踏まないと絶対に出せない音だから、絶対に誰かがいる。さっきの懐中電灯と棒を持って職員室を飛び出した。職員室と正面玄関だから、何秒とかからない。たとえ逃げたとしても、男が女か、若いか年寄りかぐらいはわかるだろうし、弱そうなやつだったら後を追いかけて捕まえることだってできる。そう思って、職員室を飛び出した。

ところが、誰もいないんだ。絶対に逃げる暇なんかはないはずだよ、私だって、そんなにとろくない。でも、ほんとに誰もいなかったんだ。最初から誰もいないみたいに静かだったよ。カエルの声しか聞こえないんだ。

（続く）

校長のつばやき

人を判断するのは大変難しい。だからこそ、私たちは様々な指標で計ろうとする。偏差値、五段階評価、部活動や委員会活動、出欠や遅刻早退、髪型や服装、表情や言葉、息づかいや手先の震え。

私の全人格（あらゆる指標）を見て判断してくれと懇願してもそれは無理な話だ。相手は相手で、数ある指標の中から必要とする指標を選び、人を判断するからだ。

結局のところ、どんな判断も全人格を否定してはいないんだよ。

（本紙中のイラストは「いらすこや」WEBみのお借りしています。）